

鳥獣被害対策チェックリスト

集落用

鳥獣被害対策は、地域、集落で行うことにより被害防止に対する共通認識も図られ、一層の被害軽減につながります。

このチェックリストを使い、地域や集落での話し合いなどで確認してみましょう。

それぞれの項目について、「はい」か「いいえ」のうち当てはまるほうを○で囲んでください。

取組状況の評価は、「はい」の○の数が全体の3分の2以上は鳥獣被害に強い集落、3分の2～3分の1は鳥獣被害に少し強い集落、3分の1以下は鳥獣被害に弱い集落、となります。

地域で学習会を行っている。	はい・いいえ
防護柵の設置・管理は地域で話し合っている。	はい・いいえ
廃材利用など安価な防止柵づくりを実践している。	はい・いいえ
防止柵を設置しても追い払い等を行っている。	はい・いいえ
防止柵は作物の目隠し効果も取り入れている。	はい・いいえ
誰も管理していない放任の果樹は伐採している。	はい・いいえ
キャンプ場などの野外施設は、ゴミ出しの規則を徹底している。	はい・いいえ
耕作放棄地の草木を刈り払って隠れ場所や住処を減らしている。	はい・いいえ
耕作放棄地などに牛や羊等を放牧して雑草の管理に活用している。	はい・いいえ
タケノコは餌になりやすいので、竹藪を管理して、できるだけ穫っている。	はい・いいえ
無人直売所などは野菜を盗られないように工夫している。	はい・いいえ
サルに餌を与えないように観光客などに呼びかけている。	はい・いいえ
餌場になる畑をなくすようにみんなで行っている。	はい・いいえ
作物に被害を与えていなくても里に近づいたサルは追い払っている。	はい・いいえ
ロケット花火による追い払いはなるべくみんなで行っている。	はい・いいえ
サルを見かけたら誰でもいつでも追い払うようにしている。	はい・いいえ
地域で狩猟免許の取得に取り組んでいる。	はい・いいえ
駆除だけに偏らず防除対策もしっかりしている。	はい・いいえ
追い払いは、一部の人に頼らずみんなで行っている。	はい・いいえ

原案：北陸農政局